

令和7年6月18日
復興庁

令和6年度 地域復興マッチング「結の場」及び イノベーション創出型「結の場」の成果について

復興庁では、平成24年度より、被災地域企業が抱える販路開拓や新商品開発といった経営課題の解決を図るため、支援提案企業とのマッチングの場を通じてのアドバイスや商談の機会を提供する「地域復興マッチング『結の場』」を実施しております。

また、令和3年度からは、イノベ構想重点6分野を中心としたオープンイノベーションの活性化等に向けた取組である「イノベーション創出型『結の場』」を実施しております。

令和6年度もこれらの取組を実施しましたので、その成果をお知らせします。

(添付資料)

- 別紙1 令和6年度地域復興マッチング「結の場」の開催について
- 別紙2 令和6年度地域復興マッチング「結の場」参加事業者一覧
- 別紙3 令和6年度地域復興マッチング「結の場」の成果
- 別紙4 令和6年度イノベーション創出型「結の場」の成果

【本件に関するお問い合わせ先】



復興庁 企業連携推進室 萱沼、岩渕、菅野
西澤、保住
TEL : 03-6328-0267

令和6年度地域復興マッチング「結の場」の開催について

地域復興マッチング「結の場」について、3県（岩手県、宮城県、福島県）の被災地域事業者を対象としたワークショップを合同で開催しました。

<開催概要>

1. 日時： 令和6年10月22日（火） 11:10～16:45
2. 形式： オンライン会議（Zoomを使用）
3. 主催： 復興庁、岩手復興局、宮城復興局、福島復興局
4. 参加： 被災地域企業21事業者 支援提案企業18事業者（別紙2参照）

■ワークショップの様子

今回のワークショップは、前年度に引き続きオンライン形式で実施しました。開会に先立ち、宇野事務次官からビデオメッセージによる挨拶を行いました。その中で、結の場を通じて多くの連携事業が創出されることへの期待が述べられました。

被災地域企業は岩手県内及び宮城県内の沿岸地域に加え、福島県内の各域から申し込みがあり、販路拡大や売上の拡大を模索する食品製造加工、販売事業者を中心に21事業者に参加いただきました。また、支援提案企業は、食品関係の卸・小売事業者を中心に18事業者にご参加いただきました。



宇野事務次官の開会挨拶



結の場の当日の様子

<支援提案の状況>

■支援提案件数

支援提案企業から被災地域企業への支援提案件数は延べ120件となりました。

■支援提案企業からの提案例

- ・ 販路開拓及び販売促進（取引先への紹介、通販サイトへの商品の掲載、社員食堂でのメニュー採用、社内販売会の開催）
- ・ 商品開発（パッケージやデザインについてのアドバイス等）
- ・ EC・通販事業全般のサポート
- ・ SNS等を活用した情報発信等による差別化戦略アドバイス
- ・ 商品プロモーションについてのアドバイスおよび支援
- ・ 輸出検討に関する全般的なアドバイス

参加事業者・団体（五十音順）

【被災地域企業：21事業者】

1	1001 小川屋	2	有限会社小が理商店	3	株式会社鍵屋
4	株式会社木の屋石巻水産	5	ゴールデンピーカン株式会社	6	五光食品株式会社
7	有限会社サカイフーズ	8	三晃食品株式会社	9	三養水産株式会社
10	株式会社三陸オーシャン	11	株式会社スリーピークス	12	大興水産株式会社
13	有限会社竹屋製菓	14	株式会社ドリームラボ	15	有限会社仲村商店
16	ニューフロンティア株式会社	17	株式会社フーズネット福島	18	ふくしま果樹加工考案室
19	株式会社ホップジャパン	20	マルヒ食品株式会社	21	南三陸ワイナリー株式会社

【支援提案企業：18事業者】

1	アルプスアルパイン株式会社	2	イオンスーパーセンター 株式会社	3	株式会社魚国総本社
4	株式会社桜波	5	カゴメ株式会社	6	紀尾井町戦略研究所 株式会社
7	株式会社 JR 東日本商事	8	株式会社 JTB	9	株式会社食一
10	生活協同組合連合会コープ 東北サンネット事業連合	11	大日本印刷株式会社	12	株式会社 東急エージェンシー
13	日本航空株式会社	14	株式会社マルト商事	15	ヤマト運輸株式会社
16	株式会社ヨークベニマル	17	LINE ヤフー株式会社	18	株式会社 LIXIL

支援提案企業が自らの経営資源を幅広く提供し、被災地域企業が抱える多様な経営課題の解決を図ることを目的として対話の場を提供。

1. 令和6年度の開催ポイント

- 被災地域企業数 21事業者
(食料品製造加工、販売企業が中心)
- 支援提案企業数 18事業者
(卸・小売企業が中心)
- 1対1 オンライนマッチング



令和6年度のオンラインマッチングイメージ



結の場当日の様子

2. マッチング件数、内容について

- 支援提案企業より120件の支援提案
【支援提案の例】
 - 社員食堂でのメニュー採用、社内販売会の開催
 - 商品プロモーションについてのアドバイス
 - 輸出検討に関する全般的なアドバイス など

3. 過去の「結の場」開催実績について

- 平成24年度から令和6年度までに延べ43回
(岩手13回、宮城17回、福島13回)
- 参加被災地域企業数 延べ385事業者
- 参加支援提案企業数 延べ1,045事業者

令和6年度 地域復興マッチング「結の場」の主なマッチング事例

別紙3

被災地域企業	被災地域企業概要	商品・サービス	マッチング事例
有限会社竹屋製菓 (岩手県久慈市) https://www.e-takeya.net/	岩手県産を中心に良質な国内産の大豆・黒豆を使用した黒豆ケーキ・ゼリー等を製造・販売。	<ul style="list-style-type: none"> ・黒豆ケーキ ・黒豆ゼリー 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援提案企業のWEBマガジンにて地元名産品としてPR ・支援提案企業の社内販売用として商品提供
株式会社スリーピークス (岩手県大船渡市) https://3peaks.shop/	自社で原料のぶどう及びりんごを栽培。果実本来の味わいや香りを引き出し、自然な味わいのワインやシードルを製造・販売。	<ul style="list-style-type: none"> ・シードル ・海街ワイン ・りんごジュース 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援提案企業の社内サイトに商品情報等を掲載し、社内販売を実施
株式会社木の屋石巻水産 (宮城県石巻市) https://www.kinoya.co.jp/	1957年に創業し、捕鯨基地の所在する宮城県石巻市ならではの鯨大和煮缶詰や、地元で水揚げされる鮮魚を活かした缶詰等を製造、販売。	<ul style="list-style-type: none"> ・鯨大和煮缶詰 ・鯖缶詰 ・牛タン缶詰 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援提案企業の拠点内社員食堂での商品の販売会を実施
五光食品株式会社 (宮城県塩竈市) https://goko-h.com/goko/	宮城県の名産「牡蠣」「牛たん」加工品の製造、自社製品を中心としたレストラン経営・お土産品販売・業務卸を中心に営業。	<ul style="list-style-type: none"> ・炙りかき ・燻製かき ・おつまみ牛たん 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援提案企業の社内販売用として商品を提供
ふくしま果樹加工考案室 (福島県伊達市) https://www.instagram.com/fukushima_kajuco/	地元産フルーツを積極的に活用した加工食品を製造・販売。規格外フルーツの商品化を行うアップサイクルをコンセプトにした商品づくりを実施。	<ul style="list-style-type: none"> ・果肉入りシロップ ・ジャム ・ドライフルーツ 	<ul style="list-style-type: none"> ・支援提案企業から取引先の紹介を受けてラジオ番組に出演し、自社の商品や取組をPR

被災地域企業

三養水産株式会社（宮城県石巻市）<https://kaki365.com/>

支援提案企業

株式会社食一

1. 被災地域企業概要

「冬の旬、宮城三陸産の濃厚な牡蠣」を365日いつでも楽しんでいただけるように、冷凍の殻付き牡蠣から牡蠣の加工食品まで独自に商品を製造・販売。

2. 主力商品

- ・殻付き牡蠣(生食用・加熱用)
- ・フライ製品
- など



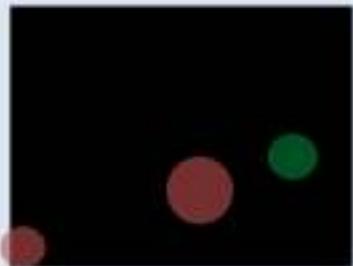
▲生食用三陸産牡蠣



▲牡蠣のクリームフライ

3. 支援提案（マッチング）内容

- ・被災地域企業は、幅広い商材を取り扱っており、牡蠣の他、フライ製品等においての販路拡大を進めたい意向についてご相談。
- ・支援提案企業の取引先である様々な地域の飲食店への紹介を通じ、販売先が東北以外（大阪府・沖縄県等）の商圏へ拡大



被災地域企業

株式会社フーズネット福島（福島県郡山市）<http://foods-net.com/>

支援提案企業

株式会社東急エージェンシー

1. 被災地域企業概要

国産きくらげの品質と通期生産にこだわり、
冬の寒い時期でも取りたての新鮮なきくらげを
食卓へ届けている。

2. 主力商品

- ・生きくらげ
- ・乾燥きくらげ
- ・ふくしま旨ったれ！ など



▲生きくらげ



▲乾燥きくらげ



▲ふくしまの旨ったれ！

3. 支援提案（マッチング）内容

- ・被災地域企業から商品開発等に関する課題感を
ご説明。
- ・支援提案企業の関連先であり、産学共同事業に
関心を持つ都内女子短期大学における、
ゼミ科目としての「白きくらげ」を活用した
新商品開発を提案。
- ・R7年度後期からのゼミ科目として開講へ調整。

- ・イノベ構想重点6分野に特化させ、福島発のイノベーション創出を目指すスピノフ型の「結の場」。
- ・令和6年度からは、オープンイノベーションを促進すべく「福島から世界を目指すディープテックベンチャーによるピッチイベント」を開催。

1. 令和6年度の開催概要

- 登壇者：浜通り地域等のインキュベーション（3施設）施設の入居企業（8社）
- 聴講者：金融機関、投資家、ベンチャー企業、福島県外企業、研究機関等計118団体、157人
- 東京（有楽町）で開催（オンライン併用）。後半には参加者同士の交流会を実施。



結の場当日の様子

2. 内容について

- 開会挨拶
- 福島イノベーション・ココスト構想の紹介
(公財)福島イノベーション・ココスト構想推進機構
- インキュベーション施設ご紹介
- ディープテックベンチャー8社によるピッチイベント
- 名刺交換、交流会

事務局にオンライン参加者を含む延べ64件の連絡要請を受け、個別フォローアップを実施。

【参考】過去の開催実績について

- 令和3年度から令和6年度までに延べ9回実施
 - 内容：福島県内個別企業、研究機関とのマッチング
ロボット・ドローン セミナー
新エネルギー（水素）セミナー
バイオ医薬品 セミナー
- 令和5年度からは、スタートアップ企業による
ピッチイベントを開始